

【復興支援道路】

一般国道340号立丸峠工区で(仮称)大峠トンネル築造工事に着手

県南広域振興局土木部 遠野土木センター
道路建設課

【工事安全祈願祭】

県が「復興支援道路」として遠野市土淵町栃内～宮古市小国間で整備を進めている一般国道340号立丸峠工区において、遠野市と宮古市の市境を貫く(仮称)大峠トンネル(L=1,839m)の掘削工事に着手することに伴い、工事期間中の安全を祈念するため、受注者の主催により平成27年9月30日に安全祈願祭が開催されました。

安全祈願祭には、県、遠野市、宮古市、地権者、工事関係者等約100名が出席し、鍬入れや玉串奉てんなどの神事が行われました。

受注者を代表して、大成建設㈱の近藤常務執行役員東北支店長が「事業の意義を理解し、自然環境や道路通行に配慮しながら、無事故、無災害で引き渡したい」と決意を述べられました。



神事(鍬入れの儀)の様子



受注者が無事故無災害を誓う

【事業概要】

県では、岩手県東日本大震災津波復興計画に基づき、三陸沿岸地域の復興と安全・安心を確保し、災害に強く信頼性の高い道路ネットワークを構築することを目的として、三陸復興道路整備事業を実施しています。

「復興支援道路」に位置付けた一般国道340号の立丸峠工区については、峠道のあい路解消に向けて重点的に整備を進めています。

【立丸峠工区の概要】

- (1) 計画延長：5.21km(大峠工区3.26km、新田工区0.25km、小峠工区1.70km)
- (2) 計画幅員：一般部6.0(9.0)m、トンネル部6.0(7.5)m
- (3) 事業期間：平成24年度～平成30年度
- (4) 全体事業費：約85億円
- (5) 主要構造物：(仮称)大峠トンネル1,839m、(仮称)小峠トンネル920m
- (6) 整備効果：遠野市～宮古市間で約4kmの距離短縮と約6分の時間短縮、トンネル整備による冬期間の交通環境改善等



【((仮称) 大峠トンネル築造工事の概要)】

(1) 工 事 名：一般国道 340 号 ((仮称) 大峠トンネル築造工事

(2) 施工延長：2,520m (トンネル工 (NATM) 1,839m、道路改良 681m)

(3) 工 期：平成 27 年 3 月 5 日～平成 30 年 2 月 24 日

(4) 契 約 額：3,874,079,880 円 (第 1 回変更)

(5) 受 注 者：大成建設(株)・(株)鴻池組・佐藤工業(株)特定共同企業体

【おわりに】

立丸峠工区のうち、新田工区については平成 26 年 12 月に供用開始しており、また、小峠工区は、今年 7 月 27 日に ((仮称) 小峠トンネル (L=920m) の貫通式が開催され、平成 28 年度中の供用を目指しています。

今回、トンネル工事の安全祈願祭を行った大峠工区は、平成 30 年度の供用を目指し、これから工事が本格化します。

今後も安全に工事を進め、一日も早く供用出来るよう、関係機関等との連携を図りながら取り組んでいきます。



宮古側からトンネル坑口を望む [H27. 10. 15 撮影]